

## 主な内容

### \*12月定例会

本会議の質問……………2・3面  
 主な審議の結果……………3面  
 常任委員会委員長報告要旨……………4面

### \*委員会活動

常任委員会の動き……………4面

### \*お知らせ

第7回高校生フォトコンテスト  
 入賞作品が決定!……………1面  
 韓国全羅南道議会訪問団が来訪…3面  
 デジタルを活用した議会機能の強化…3面  
 2月定例会開催予定ほか……………3面

# こうち 県議会 だより

## 第96号

令和5年2月19日発行



こうち県議会  
 だよりは定例会  
 (2月・6月・9月・  
 12月)に合わせ  
 て年4回発行

編集・発行  
 高知県議会

〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20  
 TEL 088-823-9536 / FAX 088-872-8411  
 E-mail 210101@ken.pref.kochi.lg.jp  
 https://gikai.pref.kochi.lg.jp/

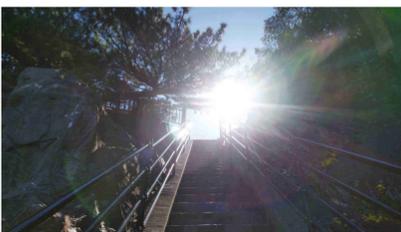
## 第7回高校生フォトコンテスト入賞作品が決定!



議長賞「高知の歴史」高知学芸高校2年 青山 真矢さん



副議長賞「また来てよ!」高知農業高校3年 中山 琉那さん



佳作「龍王の通り道」  
 高知高校1年 村上 智輝さん



佳作「澄」  
 高知農業高校3年 岡林 野咲さん



佳作「燃える空の思い」  
 須崎総合高校2年 津野 眞護さん



佳作「うみ」  
 高知高校1年 北村 胡遥さん

高知県議会では、若い世代の皆さんに政治や議会への関心を深めていただくため、県内の高校生等を対象としてフォトコンテストを実施しています。第7回となる今年度は「私の見つけた高知の魅力」「私を感じる高知の歴史」をテーマに募集を行った結果、16校49名の高校生から94点のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

今回ご応募いただきました全作品は、2月定例会の閉会日(3月22日(水)予定)まで議事堂玄関ホールに展示しておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。(平日の午前8時30分から午後5時15分まで)

## 12月定例会の概要

会期 12月6日～12月21日(16日間)

### ●開会日(12月6日)

■知事提案説明 「共感」と「前進」の好循環を生み出すことで県政をより高いステージへ

濱田知事は初めに、「知事に就任してから3年が経過した。この間、「共感」と「前進」を県政の基本方針として、繰り返し訪れる新型コロナウイルス感染症拡大の波に対応しながら、山積する県政の諸課題の解決に向け、5つの基本政策と3つの横断的な政策に基づく取組を全力で進めてきた」と述べた上で、「今後迎える任期最後の1年は、徹底して成果にこだわりながら、先々の県政にもつなげるよう、こうした取組をしっかりと軌道に乗せる仕上げる年にしたいと考えている。あわせて、アフターコロナ時代の成長の原動力であるデジタル化、グリーン化、グローバル化という3つの潮流を先取りして進めてきた各施策を一層進化させる」と述べた。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応について、「県内の新規感染者は11月上旬以降、上昇に転じており、県独自の対応ステージを「注意」から「警戒」に引き上げた。その後も、依然として増加傾向が続いており、既に第8波に入ったと言える状況だと捉えている」と述べた上で、「インフルエンザとの同時流行や第7波以上の感染拡大も想定し、先手先手で医療提供体制の整備と検査、診療体制の確保に努めている。また、高齢者施設などにおけるクラスター発生の防止の取組やオミクロン株に対応したワクチンの積極的な接種を進めることにより、県民の皆さんの命と健康を守り、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る」と述べた。

次に、令和4年度12月補正予算について、「物価高騰や国の総合経済対策への対応のため、総額322億円余りの歳入歳出予算の補正並びに総額51億円余りの債務負担行為の追加及び変更を含む一般会計補正予算案を提出した。「国の総合経済対策への対応」に関しては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、四国8の字ネットワークや浦戸湾の三重防護といったインフラ整備を加速する。また、市町村が行う出産、子育てに係る給付や、幼稚園などにおける送迎用バスへの安全装置の設置を支援するほか、県立学校の整備などに係る予算を計上した」と述べた。続いて、経済の活性化の取組などを述べ、最後に今回提案した議案45件について説明しました。

### ■決算特別委員会審査報告

決算特別委員会の森田英二委員長が、令和3年度会計決算の審査結果を報告し、採決の結果、未処分利益剰余金の処分に関する議案2件を可決し、決算議案23件を認定しました。

### ●一般質問(12月9日～14日)

#### ■知事の政治姿勢などについて議論

8名の議員が、知事の政治姿勢や新型コロナウイルス感染症対策、農業振興策、観光振興、中山間対策などについて質問しました。

### ●常任委員会審査(12月15日～19日)

審査の結果、付託された議案45件を可決しました。また、請願5件のうち4件を不採択とし、1件を継続審査としました。

### ●閉会日(12月21日)

#### ■一般会計補正予算などを可決

知事提出議案45件を原案どおり可決しました。また請願4件については不採択、1件を継続審査とし、追加提出された人事議案3件に同意しました。また、議員から提出された条例議案1件を原案どおり可決しました。また、意見書議案6件のうち4件を原案どおり可決し、2件を否決しました。



## 12月定例会本会議の質問

質問者(質問順)	十二月九日	十二月十三日	十二月十四日
	横山 文人 中根 佐知 石井 孝	桑鶴 太郎 塚地 佐智 上治 堂司	金岡 佳時 野町 雅樹

て改築が望ましいと考えるが、費用と教育効果の両面からさらに検討を進めていく。



中根 佐知  
(日本共産党)

### 中小事業者や個人事業者の直接支援制度の創設

**問** 光熱水費の急激な高騰に対し、徳島県も参考にしながら中小事業者や個人事業者を対象に直接支援する制度を創設すべきと考えるが、所見を聞く。

改めて中山間振興なくして県勢浮揚なしとの思いの下、全力で取り組んでいく。

### 日高特別支援学校寄宿舎の長寿命化改修事業

**問** 老朽化や児童生徒等の衛生面での悪影響のほか、子供たちのプライベート、自立に向けた教育が行えないといった課題があるこの日高特別支援学校寄宿舎の長寿命化改修事業について、どのような検討がされているのか聞く。

**答** 教育長 建築から50年以上が経過し、生徒の健康面等への影響や寄宿舎環境による教育面の課題等に早急に対応する必要があるので、現在長寿命化計画に基づく基本設計を実施しており、改修または改築の2方向から対応を検討している。県教委として

**答** 知事 中山間地域は本県の強みの源泉であり、高知県全体の発展の礎である。昨年度の集落実態調査で住民の皆様が将来に不安を抱く現状を再確認するとともに、地域を次世代に引き継ぎたいとの思いも直接伺っている。県が目指す中山間地域の姿や施策等を示す「中山間再興ビジョン」を来年度策定し、

### 中山間地域の将来像と方向性



横山 文人  
(自由民主党)

**問** 知事は中山間対策を懸命に進めてきたが、改めて中山間振興なくして県勢浮揚なしの決意の下、中山間地域の将来像や方向性を明確に示すことが重要と考えるが、思いを聞く。

を創設し、遠隔地に介護サービスを提供する事業者に支援を行っている。

今後さらなる高齢化によるニーズ拡大が予想される中、中山間地域での人材確保は必要な介護サービス充実のための大きな課題であり、地理的なハンデを軽減させる視点から補助制度の充実を視野に検討を進めていく。



石井 孝  
(県民の会)

### 四万十市富山地区での純米吟醸の取組

**問** 生産者が助け合い、地元産にこだわり純米吟醸の生産を続ける四万十市富山地区の取組は地域活性化のモデルになると考えるが、所見を聞く。

**答** 農業振興部長 地元産の酒をオーナー制度で販売する取組は、生産者消費者双方にメリットがある。加えて地元こだわりの生産は、地域に経済効果をもたらす。こうした取組が各地に広がり、生産者と消費者との交流ニーズに応じたサポートを行う。

### 四万十市の赤鉄橋修繕工事の検討状況

**問** 平成30年12月定例会で当時の土木部長から、赤鉄橋で修繕が必要な箇所が見つかり、次回点検までに修繕工事を完了させるよう取り組むとの答弁があった。現在修繕工事を行っているが、耐震対策や架け替えを含めた検討状況を聞く。

**答** 土木部長 現在、橋桁の塗装工事等を行っており、来年度までに修繕が完了する予定である。あわせて耐震対策についても平成30年度から検討を開始し、本年度工事に着手している。

この橋は大正15年に架設され、定期的な修繕を行っても将来的に大規模な修繕が架け替えが必要となる。そのため中長期的な視点で、まちづくり計画や河川との関係等赤鉄橋の課題について四万十市と検討を始めており、今後さらに深めていく。



桑鶴 太郎  
(自由民主党)

### 事業者のデジタル化への支援状況と今後の取組

**問** 国のIT導入補助金は使いづらいとの声も聞かれる。県だからできる使い勝手のいい補助金で中小企業等のデジタル化につなげていたいただきたいが、これまでの支援状況と今後の取組を聞く。

**答** 知事 令和2年度からデジタル化のモデル事例を創出する事業を行い、本年度から普及啓発に取り組んでいる。また、産業振興センターと商工会連合会に企業の取組を後押しする体制を整備し、高知デジタルカレッジでは人材育成にも取り組んできた。加えて県補助制度の中にデジタルトランスフォーメーションに取り組み企業を支援するため「加速枠」を設ける補正予算案を今議会に提案した。こうした取組を通じ県内企業のデジタル技術活用を量的な拡大と質的な向上を推進する。

### 「らんまん」放送終了後の観光振興策

**問** 一過性のものにならないよう戦略的・継続的に発信する息の長いPRが重要だが、放送終了後の観光振興策について聞く。

**答** 観光振興部副部長 放送は半年間で終了するが、合わせて実施する観光博覧会は令和6年3月まで予定している。博覧会終了後も牧野博士ゆかりの地やロケ地巡りなど、関連する地域の情報発信を続けたい。ドラマ放送は皆様の誘致活動のためであり、このチャンスをつかんで地域の観光振興に長くつなげられるよう取り組む。



塚地 佐智  
(日本共産党)

### 抗原検査キットの配付継続と購入措置

**問** 第7波では検査キットの配付事業があったが今回は購入が求められている。希望者には郵送し、少なくとも経済的に厳しい方々の購入費には措置を講じるべきと考えるが、所見を聞く。

**答** 知事 第7波では感染の急拡大により検査キットの入手が困難となったことから無料配付を行った。その後入手しやすい状況となり無料配付を休止した。今後発熱外来等が逼迫し、キット入手が難しい状況となった場合には速やかに再開したい。経済的な理由などで購入が困難な方々に症状が出た場合は自己検査を求める趣旨ではないので、発熱等の症状が出た

場合は速やかに医療機関で受診をしていただきたい。

### 土佐市メガソーラー開発事業者の許可条件違反

**問** 開発事業者は許可条件違反等を繰り返しているが、県はどう受け止めているのか。また許可の取消しを発動すべきと考えるが、所見を聞く。

**答** 林業振興・環境部長 県は事業者に対し、違反した事項を是正するための措置を講じるよう行政指導を行っており、指導に従わない場合は開発行為の中止命令等の監督処分を科すこととなる。許可の取消しは、許可要件に係る重大な義務違反があり、監督処分でも解消されない場合に行うことが可能とされている。この事業者は行政指導に応じ一定措置を講じており、直ちに許可を取り消す段階とは考えていない。



上治 堂司  
(自由民主党)

### 中山間地域のUターン対策

**問** 中山間地域の課題であるUターン対策について、踏み込んだ施策を県が立案し、市町村と一体となって進めることへの所見を聞く。

**答** 中山間振興・交通部長 Uターン者を増やすためには従来より踏み込んだ施策展開が必要だ。来年度に向け居住地や年代などのビッグデータを基に県出身者と思われる方を特定して情報提供するデジタルマーケティング

ングの活用を検討している。また市町村の取組が不可欠であり、補助金などにより可能な限り支援していき、早く成果が得られるよう一体となって取り組む。

### 地域の実情を踏まえた 中学校の部活動

**問** 部活動の地域移行もわかるが、地域性や受皿など全国一律に進めることは困難だ。まずは、学校間で連携が取れる広域での部活動からスタートしていくことへの所見を聞く。

**答** 教育長 市町村や学校によつては、団体や指導者の確保等の体制整備が困難であったり、時間がかかる場合があると思われる。子供たちのスポーツ・文化活動の機会の確保には、広域での部活動から始めることも有効な方法と考える。

県教委としてまず市町村で地域の実情を踏まえた部活動の在り方を議論していただき、その中で広域での部活動の方式もお知らせする。その上で取り組む際は、市町村間の調整等必要な支援を行う。



金岡 佳時  
(自由民主党)

### 中山間地域の少子高齢化、 過疎化の歯止め策

**問** 中山間地域では投資によつて所得の向上を図り、生活を可能にすることが少子高齢化、過疎化の現実的な歯止め策と思うが、どのような方策で解決に向けて進めるのか所見を聞く。

**答** 知事 中山間地域は担

に基幹産業衰退等、負の連鎖の状況にある。反転のためには移住促進と所得向上を図る地域の産業振興、そして投資が重要となる。

このため地域産業を支える人材確保や基幹産業である1次産業の振興、地域資源を生かした地域アクションプランに取り組んでいる。引き続き将来に向け必要な投資の展開を図ると共に中山間対策を総動員しながら全力で取り組む。

### 中山間地域デジタル化 支援事業の今後の展開

**問** 水田センサーや水門管理の自動化は、棚田維持の切り札と思うが、今後どのようにして各地域への導入を図るのか所見を聞く。

**答** 中山間振興・交通部長 本山町で取り組んでいるデジタル技術を活用したシステムは中山間地域における省力軽減等に効果的で早期に横展開を図っていきたい。このため、実証事業中も他の市町村に見ていただき早期の導入検討を促すとともに、得られた技術や運用方法、コスト等の内容をまとめ情報提供を行っていく。実際の導入には農林水産省の交付金が活用可能であり、農業振興部とも連携し県内への普及につなげる。



野町 雅樹  
(自由民主党)

### 多機能支援施設の現状と 課題及びスケジュール

**問** 東部地域への看護学校のサテライト教室を含む多

機能支援施設の設置に向けた現状と課題、開設までの具体的なスケジュールについて聞く。

**答** 健康政策部長 本年10月に施設改修の実施設計に着手したところだ。今後、東部地域医療確保対策協議会において多機能支援の在り方などを協議することとしている。看護師養成には学生の確保と地域に定着していただくことが必要であり、市町村に奨学金制度の創設や定着対策等を提案している。施設での活動開始には課題が山積しているが、5年度後半にはハードの整備に着手できるよう進捗を図り、市町村などと連携して早期の活動開始に取り組んでいく。

### 農家の経費負担軽減に 対する支援

**問** 異常な資材高騰下では産地全体の園芸用ハウス面積の維持は極めて困難だ。整備に関する補助率のアップ、被覆資材等への補助など農家の経費負担の軽減に対し踏み込んだ支援ができないか聞く。

**答** 農業振興部長 先行きの見えない状況下で農家経営の厳しい現状と支援拡充を求める声が寄せられており、既存ハウスの修復、再生による長寿命化や被覆資材への補助など、また新規ハウスの補助対象への被覆資材の追加も検討している。厳しい環境下でも生産者が夢や希望を持ち、農業に取り組めるよう、引き続き支援の拡充に務める。

## 12月定例会 主な審議の結果

- 可決された議案(78議案) ※同意、認定を含む
- 知事提出議案(73議案)
  - 予算議案(10議案)
    - ・令和4年度高知県一般会計補正予算 ほか9議案
  - 条例議案(7議案)
    - ・高知県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び知事等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例議案 ほか6議案
  - 決算議案(23議案)
    - ・令和3年度高知県一般会計歳入歳出決算 ほか22議案
  - その他議案(33議案)
    - ・高知県が当事者である訴えの提起に関する議案 ほか32議案
- 議員提出議案(5議案)
  - 条例議案(1議案)
    - ・高知県議会の保有する個人情報の保護に関する条例議案
  - 意見書議案(4議案)
    - ・帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書議案
    - ・知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書議案

- ・森林吸収源対策及び林業・木材産業の活性化対策の推進を求める意見書議案
  - ・防衛関係費の充実に向けた財源についての意見書議案
  - 否決された議案(2議案)
  - 議員提出議案(2議案)
    - 意見書議案(2議案)
      - ・学校給食費の無償化を求める意見書議案
      - ・消費税インボイス制度(適格請求書等保存方式)の中止・延期を求める意見書議案
  - 不採択とされた請願(4件)
    - ・すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるための請願について(請第1-1号、請第1-2号)
    - ・教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める私学助成の請願について(請第2-1号、請第2-2号)
  - 継続審査とされた請願(1件)
    - ・土佐市宇佐メガソーラー開発に関する請願について
- ※各議員の賛否の状況は、  
県議会のホームページでご確認いただけます。



## 2月定例会開催予定

2月21日(火)	開会	【中継】
3月1日(水)	質疑並びに一般質問	【中継】
2日(木)	〃	【中継】
3日(金)	〃	【中継】
7日(火)	〃	【中継】
8日(水)	〃 (一問一答)	【中継】
9日(木)	〃 (一問一答)	【中継】
10日(金)	常任委員会	
13日(月)	〃	
14日(火)	〃	
15日(水)	〃	
16日(木)	〃	
17日(金)	〃	
22日(水)	閉会	【中継】

新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴定員を制限しており、マスクの着用とアルコール消毒、検温をお願いしております。  
※日程は変更になる場合があります。傍聴の際には、議会事務局議事課(TEL088-823-9534)までご確認ください。  
※本会議、委員会の開催予定及び傍聴の方法は県議会のホームページにも掲載しています。

## 韓国全羅南道議会訪問団が来訪

令和4年12月27日に、韓国全羅南道議会訪問団が、高知県議会日韓友好促進議員連盟との友好交流協定調印のため本県を訪れ、明神議長を表敬訪問しました。



## デジタルを活用した議会機能の強化

高知県議会では、議会デジタル化検討小委員会を設置し、議会デジタル化についての調査検討を進め、このたび報告書として取りまとめました。  
この報告書を踏まえ、  
①災害時などにも議会の機能が止まることのない「危機に強い議会の実現」、  
②議会基本条例に規定する県民の意思反映及び参加推進、広報広聴機能の充実のための「県民とのコミュニケーションの強化」、  
③行政の高度化に対応し、多くの情報を議員が活用できるよう「業務の効率化、迅速化及び政策立案能力の向上」  
を目指して議会デジタル化を積極的に進めることにより、議会機能の強化に取り組んでいくこととしました。  
その一環として、今後タブレット端末を整備し、会議のオンライン化やペーパーレス化の取組を進めてまいります。

## 議会中継

- ・県議会のホームページで、本会議の生中継と過去3年分の録画中継がご覧いただけます。
- ・下記のケーブルテレビ局でも生中継を行います。
- 高知ケーブルテレビ 718ch (714ch 2/21、3/1、3/7、3/22)
- 西南地域ネットワーク 111ch
- よさこいケーブルネット 851ch
- 香南ケーブルテレビ 112ch
- 四万十ケーブルテレビ 122ch
- むろと光サービス 111ch
- 黒潮町ケーブルテレビ 111ch



スマホやタブレットからご覧ください

# 12月定例会 常任委員会 委員長報告 要旨

## 総務委員会

### ■時間外勤務手当等について

執行部から、年度途中の業務状況などを踏まえ、増額するものであると説明があった。

委員から、コロナを契機にリモートワーク等を進めてきたことを踏まえ、令和4年度の時間外勤務の実績をどう分析しているのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、社会経済活動の本格化に併せて、様々な事業に取り組んだ結果、時間外勤務は増加したが、リモートワークやデジタル化の取組などにより業務の効率化を図ることで、時間外勤務の増加抑制に一定の効果があった。コロナ前の令和元年度と比較すると減少傾向にあると答弁があった。

さらに委員から、アフターコロナにおいても、リモートワーク等を推進していくのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、業務のペーパーレス化や電子決裁などを進めることにより、リモートワークしやすい環境を整え、アフターコロナにおいてもリモートワーク等を積極的に推進していくと答弁があった。

### ■部活動地域移行に係るアンケート結果等について

執行部から、部活動の地域移行の方向性等の検討に当たり、児童生徒、保護者、教職員の意向を捉えるためのアンケートを実施した。また、国から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(案)」が示されたことも踏まえ、子供たちが地域で生き生きとスポーツ・文化芸術活動ができるよう、部活動の地域移行に関する高知県の方向性について、年度末をめぐりまとめていきたいと報告があった。

委員から、中学校教員の回答において、部活動の指導について、やりがいにつながる、生徒の成長がうれしいなどの意見がある一方、地域の指導者として関わりたいという回答が約20%と少なく、その理由を校務多忙のためとする回答が多かった。専門的な指導力もあり、地域の指導者として関わりたいと思う教員もいることから、教員が参加しやすくなるよう、引き続き議論を求めると意見があった。

## 商工農林水産委員会

### ■デジタル技術活用促進事業費補助金について

執行部から、県内企業のデジタル化の取組をさらに促進するため、国の補助制度から一定要件を緩和した県独自の補助制度を設け、県内企業の生産性向上等により、賃金の引上げにつなげるものであると説明があった。

委員から、デジタル化を理解してもらうために、事業者が身近に相談できる窓口を設けることが大事だと思うのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、現在、産業振興センターにデジタル化の相談窓口を設けている。加えて、商工会連合会にデジタル化アドバイザーを設置し、商工会及び商工会議所の経営指導員と一緒に事業者への巡回支援も行って、今後もしっかりと取り組んでいくと答弁があった。

### ■持続的農業推進事業費について

執行部から、燃油や肥料の価格高騰により厳しい経営状況にある農家を支援するものであると説明があった。

委員から、燃油等の価格高騰に苦しむ農家に対して的を射た支援となるのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、今回の支援策で農家の負担はかなり抑えられると考えている。国の支援もあり、市町村でも支援が検討されていると答弁があった。

別の委員から、肥料に対する支援条件である2年間での化学肥料の使用量2割低減について、具体的にどのようにやっていくのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、国から土壌診断などいくつかの例示がされており、その中から支援金の申請受付の際にどれを選ぶか決めてもらっていると答弁があった。

委員から、農家が独自に提案することはできないかと質疑があった。

それに対し執行部からは、自身で取組を考えても構わないこととなっている。今後、どのような内容が出てきているのかについてもまとめていきたいと答弁があった。

## 危機管理文化厚生委員会

### ■介護福祉機器等導入支援事業費補助金について

執行部から、国の補正予算に対応し、障害福祉分野に係るロボット及びICT機器の導入経費に対する補助金への要望が当初の見込みを上回ったため、増額補正を行うものであると説明があった。

委員から、介護事業所のICT機器の導入状況はどのようになっているかと質疑があった。

それに対し執行部からは、今年度実施した実態調査によれば、38.6%の事業所でICT機器等が導入されており、今後予定しているという事業所を加えると55.5%になると答弁があった。

さらに委員から、将来的にはICT機器への対応もしていかなければならない中で、導入していない事業所に対しては、どのような啓発に取り組んでいくのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、今年度からICT導入の支援事業として、セミナーの開催や個別のアドバイスを行っており、今後も支援を続けていきたいと答弁があった。

### ■妊娠出産子育て支援事業費補助金について

執行部から、子育てに孤立感や不安感を抱く子育て家庭に対して、安心して出産・子育てができる環境整備を行うとともに、経済的支援を一体的に行う交付金を創設するものであり、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型支援を充実させるものであると説明があった。

委員から、新たに母親や父親になる方全員に、伴走型相談支援の周知が図られているのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、母子手帳を交付した段階で丁寧な面談を行って情報提供しており、また面談の時間が取れない方についても、各市町村の保健師が呼びかけながら継続的に接していると答弁があった。

別の委員から、一つの家庭の面談は同じ保健師が継続して行うようになっているのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、初回の面談は子育て世代包括支援センターの保健師が行うこととなり、その後、市町村の実情に応じて地域の担当保健師等に引き継ぐ体制になっているが、同じ方が継続して担当している自治体もあると答弁があった。

## 産業振興土木委員会

### ■産業人材育成研修等委託料について

執行部から、産学官民連携センターで実施しているビジネス研修「土佐まるごとビジネスアカデミー」の実施に係る委託料である。平成24年度の開講から令和3年度までの10年間で延べ3万4,160人の方に受講していただき、ビジネスの基礎知識の習得やスキルの向上、企業や事業者の課題解決などにつながっていると説明があった。

委員から、受講者の中には複数年継続して受講している方もいるのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、近年の傾向としては複数年継続して受講している方が約3割といった状況である。10年続けて受講している方もいるが、全体的に見ると2、3年続けて受講している方が多いという印象を持っていると答弁があった。

また、委員から、受講の成果についてはどのように捉えているかと質疑があった。

それに対し執行部からは、社員に受講させた企業を対象に今年度実施したアンケートでは、受講した社員の知識やスキルが仕事に活用されていると回答した企業が約9割、受講した方の業務成績が向上していると回答した企業が約半数、社員が受講したことで会社の業績も向上したと回答した企業が4分の1程度と、プラスの成果が出ていると答弁があった。

### ■電気バス導入緊急支援事業費補助金について

執行部から、バス事業者に対し、電気バス車両の購入費用及び充電設備の設置費用などを補助するものである。電気バスは走行性能や耐久性などで不明な点もあるが、脱炭素社会の実現の面で活用が期待されており、まずは導入を促してメリット、デメリットを検証し、今後の普及に向けた手だてを検討していきたいと説明があった。

委員から、電気バスのメリット、デメリットとその検証について具体的にどう考えているのかと質疑があった。

それに対し執行部からは、ディーゼル車両に比べて馬力が劣るなどの面があるが、この路線なら運行できるだろうということで手を挙げた事業者が3社あった。実際にその路線を走らせて、運用面でのメリット、デメリットを確認していただきたいと考えていると答弁があった。

## 常任委員会の動き

### ■総務委員会

12月15日、16日、19日（12月定例会中）  
付託された9件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。  
請願2件、意見書案3件を審査。

### ■商工農林水産委員会

12月15日、16日、19日（12月定例会中）  
付託された4件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。  
請願1件、意見書案1件を審査。

### ■危機管理文化厚生委員会

12月15日、19日（12月定例会中）  
付託された14件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。  
請願2件、意見書案3件を審査。

### ■産業振興土木委員会

12月15日、19日（12月定例会中）  
付託された21件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。